

# 山城調査とその成果

茨城大学大学院 人文科学研究科 牡丹健一

## ①シンポジウム「よみがえる 戦国の城」

○11月1日(日)ロゼホールにて開催

第1部：記念講演会

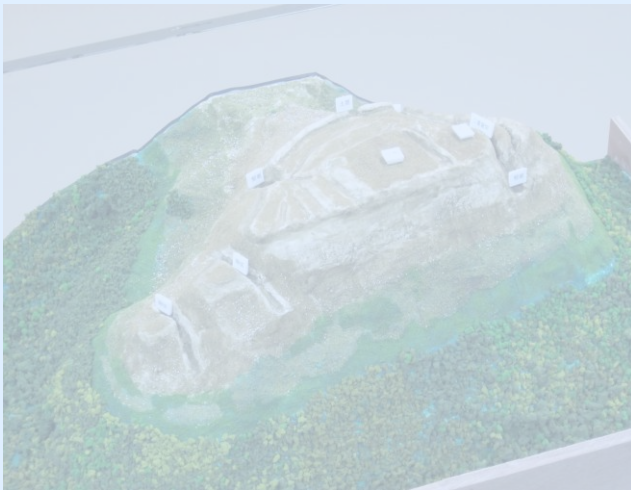
〈常陸大宮に城が造られた時代

—室町・戦国期を語る〉

第2部：パネルディスカッション

〈常陸大宮の城から何が見えるのか〉

⇒山城が築かれた地理的要因や当時の社会状況について明らかにすることができた。



## ②特別展「館〈たて〉と宿〈しゆく〉の中世 —常陸大宮の城跡とその周辺—」

○10月10日(土)～11月23日(月・祝)

○常陸大宮市歴史民俗資料館大宮館にて開催

○市域を旧5町村に分け、地域ごとに展示

①大宮地域 ②美和地域 ③緒川地域

④山方地域 ⑤御前山地域

⇒山城や地域に関連する「モノ」を通じて、地域の歴史を具体的に紹介することができた。

## ③ヒストリーツアー

「常陸大宮 戦国の城を歩く」

○10月18日(日)

一般(初心者)コース「部垂の乱の舞台をゆく」

○11月15日(日)

健脚コース「山城のさと 高部」

⇒戦国期の遺構などを巡見することで、参加者に地域の歴史について体感してもらった。



**まとめ** ○今回の基礎調査によって常陸大宮市域の山林に眠る山城跡を文化的資産として見直すことができた。  
○見聞きするだけでなく体感してもらおうというかたちで調査成果の還元を行った。  
○課題としては、文化的資産の活用と保存の両立や、継続した調査および還元の必要性などがある。